

としょがんだより

2023年 2月号 No. 273

ひたちなか市立図書館

中央図書館 ひたちなか市元町5-3

Tel 029-273-2247

那珂湊図書館 ひたちなか市鍛冶屋窪3566

Tel 029-263-5499

佐野図書館 ひたちなか市高場1362-1

Tel 029-270-3811



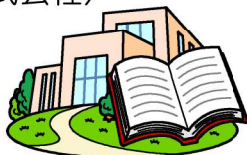
ひたちなか市立図書館ホームページ

<https://www.lib.hitachinaka.ibaraki.jp>

学びで福はうち! 知りたいにこたえる! 図書館講座のご案内♪

【中央】法律講座「いつかに備えていまからできる終活講座 ～知っておきたい相続・遺言のはなし～」

日時 2月25日(土) 午前10時～正午
場所 中央図書館 視聴覚室(2階)
講師 ・片岡優さん(弁護士法人片岡総合法律事務所)
・山内享郎さん(第一法規株式会社)
対象 高校生以上
定員 20人(先着順)
申込 受付中



【佐野】ふるさと講座「茨城弁の魅力」

方言としての「茨城弁」を通じて、言葉の魅力と茨城の魅力について語ります。

日時 3月19日(日) 午後1時30分～
場所 佐野図書館 視聴覚室(2階)
講師 茨城王(イバラキング)こと
青木智也さん
定員 30人(先着順)
申込 2月23日(木・祝)～

おっちゃんめ

いやどうも

だっぺ

ごじゃっぺ

【中央】講座「ひたちなかの美味しい珈琲話 ～世界中のコーヒーにケーキを添えて～」

日時 3月12日(日) 午後1時30分～3時30分
場所 中央図書館 視聴覚室(2階)
講師 鈴木誉志男さん
(株式会社サザコーヒーホールディングス)
対象 中学生以上
定員 20人(先着順)
参加費 650円(ケーキ代)
申込 2月10日(金)～



【佐野】春休みこども講座 「知ってる? 図書館でできること」

図書館の使い方の基礎と、本の探し方・調べ方を学びます。

日時 3月26日(日) 午後1時30分～
講師 勝山万里子さん
(茨城キリスト教大学兼任講師)
場所 佐野図書館 視聴覚室(2階)
対象 新小学3年生以上の児童とその保護者
定員 8組(先着順)
申込 3月3日(金)～



【中央】講演会「子どもを育み、家族を育む 『家読』の力を考える～絵本に学びながら～」

日時 3月15日(水) 午後1時30分～3時
場所 中央図書館 視聴覚室(2階)
講師 長谷川鈴子さん
(絵本カフェ「なんだかうれしい。」店主
茨城キリスト教大学非常勤講師
元秋田県立図書館長)
対象 幼児・小学生の保護者
定員 20人(先着順)
申込 2月10日(金)～



◎申込・問合せ

各館に直接、または電話にて承ります。
受付は、申込開始日の午前9時からです。

【中央図書館】 029-273-2247

【那珂湊図書館】 029-263-5499

【佐野図書館】 029-270-3811

※開催されるイベントはすべて『事前申込制』です。ご入館の際は、マスクの着用、検温、手指消毒、ソーシャルディスタンスの確保、屋内換気などの感染予防対策にご協力ください。

🎀 絵本でころをぽかぽかに。2月「おはなし会」のご案内です 🎀

あかちゃん向け (0～2歳の親子)

【中央】おひざでだっこのおはなしかい

日時 2月10日(金) 午前11時～11時20分

場所 おはなしのへや

定員 5組(先着順) 申込 受付中

【那珂湊】だっこでおはなし会

日時 2月18日(土) 午後2時～2時30分

場所 おはなしのへや

定員 4組(先着順) 申込 1月25日(水)～

【佐野】おひざできくおはなしかい

日時 2月21日(火) 午前11時～11時30分

場所 視聴覚室(2階)

定員 10組(先着順) 申込 2月7日(火)～



幼児・小学生向け

【中央】おはなしのポケット

日時 2月11日(土) 午前11時～11時30分

場所 視聴覚室(2階)

定員 15人(先着順) 申込 受付中

【中央】つだおはなしのへや

日時 2月18日(土) 午後2時～2時30分

場所 視聴覚室(2階)

定員 15人(先着順) 申込 2月3日(金)～

【中央】かつたおはなしのかい

日時 2月22日(水) 午後3時30分～4時

場所 視聴覚室(2階)

定員 15人(先着順) 申込 2月8日(水)～

【那珂湊】おはなしのドア

日時 2月25日(土) 午前11時～11時30分

場所 視聴覚室(1階)

定員 15人(先着順) 申込 2月10日(金)～



まったり、のんびり 映画会

一般向け

【佐野】サンデーシアター 「トキワ荘の青春」(110分)

日時 2月12日(日)

①午前10時～ ②午後2時～

場所 視聴覚室(2階)

定員 各回15人(先着順)

申込 1月27日(金)～

【那珂湊】みなとシアター 「ハルをさがして」(93分)

日時 2月19日(日) 午後2時～

場所 視聴覚室(1階)

定員 15人(先着順)

申込 受付中

【佐野】サンデーシアター 「マイホーム・サバイバル」(55分)

日時 3月12日(日)

①午前10時～ ②午後2時～

場所 視聴覚室(2階)

定員 各回15人(先着順)

申込 2月23日(木・祝)～

こども向け

【佐野】こどもえいがかい 「ムーミンパペット・アニメーション ～ムーミン谷の冬～ほか」(20分)

日時 2月4日(土)

①午前11時～ ②午後2時30分～

場所 視聴覚室(2階)

定員 各回10組(先着順) 申込 受付中

【那珂湊】キッズシアター アニメ「フラ・フラダンス」(108分)

日時 2月12日(日) 午後2時～

場所 視聴覚室(1階)

定員 15人(先着順) 申込 受付中

【中央】こどもえいがかい 「うっかりペネロペ～家族といっしょ編～」(35分)

日時 2月26日(日)

①午前11時～ ②午後2時30分～

場所 視聴覚室(2階)

定員 各回15人(先着順) 申込 2月15日(水)～

【佐野】こどもえいがかい アニメ「ププカいていせきのぼうけん(前・後編)」 (20分)

日時 3月4日(土)

①午前11時～ ②午後2時30分

場所 視聴覚室(2階)

定員 各回10組(先着順) 申込 2月17日(金)～



震災 メモリアル



東日本を襲った未曾有の大災害、東日本大震災から今年で12年が経ちます。図書館では、災害の記録や教訓を伝えるもの、未来へ備えるための本などを特集コーナーに揃えました。自分や大切な人のために、今一度震災や防災について、見つめ直してみましょう。

『紙つなげ！彼らが本の紙を造っている』

佐々 涼子/著 早川書房 2014年6月

本に使われている紙がどこから来ているか、考えたことはありますか。東日本大震災により、宮城県石巻市にある製紙工場が津波にのまれ、壊滅的な被害に遭いました。震災の絶望から地域のため、本を待つ読者のために力を尽くした製紙工場の人々取材した、紙の本を改めて読みたくなる一冊です。



【一般書】

中央	那珂湊	佐野
585サ	585サ	585サ

『はなちゃんのはやあるきはやあるき』

宇部 京子/作 菅野 博子/絵 岩崎書店 2015年1月

東日本大震災で園舎を流出しながらも、一人も死傷者を出さなかった、岩手県にある保育所の避難行動を題材とした「じぶんでじぶんの命をまもることの大切さ」を伝える絵本です。



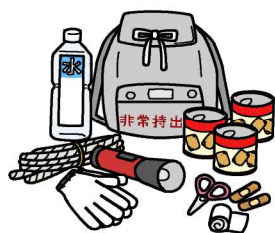
【絵本】

中央	那珂湊	佐野
E/八	E/八	E/八

『おうち備蓄と防災のアイデア帖』

島本 美由紀/著 パインターナショナル 2020年9月

いつもの生活の「防災」という視点を加えた食材の使い方や、最低限必要なものを家族で準備できる「おうち備蓄リスト」を写真などで分かりやすく紹介しています。ローリングストックでおうち備蓄をはじめてみましょう！



【一般書】

中央	那珂湊	佐野
369シ	369シ	369シ

注目！ 第168回 芥川賞・直木賞 受賞作が決定しました！



『この世の喜びよ』
井戸川 射子/講談社 2022.11



『荒地の家族』
佐藤 厚志/新潮 令和4年12月号



『地図と拳』
小川 哲/集英社 2022.6



『しろがねの葉』
千早 茜/新潮社 2022.9

著者のこれまでの作品を含めて、各館で特集をしています。(貸出中の場合は予約となります)

のぞいてみよう！古典文学の世界

いつも、どんな本を借りて読みますか？小説、実用書、趣味に関する本など、さまざまなジャンルがありますが、普段の読書から少し離れて、古典文学を読んでみるのはいかがでしょうか。
代表的な作品と、わかりやすく読める図書を紹介します。

大和・奈良時代

奈良時代(都が移される)までの文学を「上代文学」といいます。□から□へ語り継がれてきたものが書物として残されるようになりました。

○『古事記』

奈良時代はじめに書かれた、現存する日本最古の書物です。上・中・下巻から成り、神話や歴代天皇、時代ごとの出来事などが記されています。

鎌倉～安土桃山時代

この頃の文学は「中世文学」と呼びます。時代の中心が貴族から武士に変わり、「軍記物語」というジャンルが成立しました。

○『平家物語』

「祇園精舎の鐘の声…」というフレーズを一度は聞いたことがあるのではないのでしょうか。平家一門の繁栄と没落が描かれ、琵琶法師によって語り広められました。

平安時代

平安時代の文学を「中古文学」といい、漢詩・漢文に加え、平仮名を用いた仮名文学が栄えました。多くの物語が作られた時代です。

○『竹取物語』

日本の物語のはじまりとされますが、作者は未詳です。非現実的な雰囲気と人々を魅了する美しさをもつ「かぐや姫」は後世の物語文学に大きな影響を与えました。

江戸時代

およそ260年続いた江戸時代における文学を「近世文学」といい、都市が発達していくなかで、富と教養を高めた町人に支えられました。

○『南総里見ハゲ犬伝』

28年もの年月をかけて書かれた作品です。作者である曲亭馬琴の代表作ともいえ、里見家再興を目指して活躍する八人の犬士の物語です。

気軽に読める！古典文学シリーズ

『日本文学全集』河出書房新社(全30巻)

著名な現代作家によって訳されており、古事記や源氏物語など厚みがありますが、読み応えのあるシリーズです。

『ストーリーで楽しむ日本の古典』岩崎書店(全20巻)

児童書を手掛ける作家によるシリーズ。物語から百人一首まで幅広く読むことができます。

『21世紀版少年少女古典文学館』講談社(全25巻)

読みやすい文章ながら、古い表現の用語には注釈がついているため、古典の世界へ入りやすいシリーズです。

参考文献 * 川島周子『文学史のおさらい』自由国民社、2009 * 斎藤孝『古典を楽しむきっかけ図鑑 第1、2巻』日本図書センター、2013

としゃかんカレンダー

2月



日	月	火	水	木	金	土
			1	2	3	4
5	6	7	8	9	10	11
12	13	14	15	16	17	18
19	20	21	22	23	24	25
26	27	28				

3月



日	月	火	水	木	金	土
			1	2	3	4
5	6	7	8	9	10	11
12	13	14	15	16	17	18
19	20	21	22	23	24	25
26	27	28	29	30	31	

■は全館休館日です。□は津田分室の休館日です。
※ブックポストへの返却は、休館中もご利用いただけます。